

令和7年4月1日
全道連 第2号

道場対抗剣道大会出場団体 御中
少年剣道選手権大会出場団体 御中

東京都大田区大森本町一丁目二番八号
一般財団法人 全日本剣道道場連盟
会長 下村 博文

(印
略)

● 第41回全国道場対抗剣道大会
● 全国道場少年剣道選手権大会
(第49回小・中学生男子の部)
(第42回小・中学生女子の部)

要 項

- 1 趣 旨 「全国道場対抗剣道大会」は、師弟同行の精神を主眼にし、小学生から大人で構成する団体戦で、道場の先輩・後輩・指導者が協力して臨む大会である。道場単位で道場間の交流を図ることと、開催は各都道府県支部による持ち回りとする事で剣道普及と地元剣道の活性化に寄与することを目的とする。
- 「全国道場少年剣道選手権大会」は、男女別による小・中学生の個人戦(全4部門)で各都道府県の予選大会を勝ち抜いた有力選手が力を競い合い、小・中学生剣士の日本一を決定するにふさわしい大会を開催し、将来を担う少年少女剣士の健全なる育成に寄与することを目的とする。
- 2 期 日 令和7年10月19日(日)
- 受 付 午前7時30分～8時30分 ※開場 午前7時30分
選手整列 午前8時45分
開 会 式 午前9時00分
試合開始 午前9時50分予定
- 3 会 場 鹿児島アリーナ(西原商会アリーナ)
〒890-0023 鹿児島県鹿児島市永吉1-30-1
TEL 099-285-2244
※ 大会及び施設に関するお問合せは、後記の大会事務局にお願いいたします。
なお、鹿児島アリーナ HPにアクセス等が記載されています。
- 4 主 催 一般財団法人 全日本剣道道場連盟
- 5 主 管 鹿児島県剣道道場連盟
- 6 後 援 (予定)スポーツ庁・全日本剣道連盟・鹿児島県剣道連盟
日本財団(助成)

7 参加資格 A 第41回全国道場対抗剣道大会(以下「団体戦」という。)

(1)参加資格

- ① 全日本剣道道場連盟の加盟団体であること。
- ② 各都道府県割当数により選抜されたチーム(道場)であること。
- ③ 混成チーム不可。1道場1チームで編成すること。
- ④ 前回優勝チーム(道場)は、無条件で出場できる。
- ⑤ 主管支部の実情により、出場チームが増枠できる場合は、本部において調整する。

(2) 選手構成基準(年齢の基準は、大会前日10月18日とする)

先鋒	小学生
次鋒	中学生
中堅	高校生以上29歳以下
副将	30歳以上
大将	40歳以上(40歳以上であれば年齢は副将より年下でも可)

- * 年齢基準は厳守すること
- * 中堅以降は道場で1年以上修業し在籍(登録)していた者とする。
- * 中堅・副将・大将は、職種を制限しない。
- * 上記出場資格については、各都道府県支部で特に確認することとする。

(3) 小・中学生選手は、少年剣士会員章(ワッペン)を右上腕部につけること。

B 全国道場少年剣道選手権大会(以下「個人戦」という。)

(1) 参加資格

- ① 全日本剣道道場連盟の加盟団体に所属する少年少女剣士であること。
- ② 各都道府県割当数により選抜された者であること。
- ③ **本大会の予選会に出場する者は、登録支部一ヶ所のみ出場可とする。**

(2) 選手は、少年剣士会員章(ワッペン)を右上腕部につけること。

8 試合方法 団体戦・個人戦共にトーナメント方式とする。
優勝・準優勝・三位(2チームまたは2名)を決定する。三位決定戦は行わない。

9 試合と審判 **A 団体戦**

(1) 本大会は全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則、ならびに試合・審判細則
および本大会要項、申し合わせ事項に従って行う。

- * 試合者は試合中、面マスクかマウスシールドのどちらかを着用すること。
マスクは口と鼻を確実に覆うものとする。シールドは口元を覆うものとし、
形状の指定はしない。
- * 試合者は鰐競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技及び体当たりからの技
(発声を含む)は認める。やむを得ず鰐競り合いになった場合、試合者はすみやかに
に分かれる。(鰐競り合いは一呼吸3秒程度とし、剣先が触れない所まで下がる)
- * 中学生の「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟
剣道部申し合わせ事項に準じ禁止する。(但し、隻腕の場合は、事前に大会本部
に連絡をする。小学生もこれに準ずる。)

(2) 試合時間は、先鋒・次鋒は3分、中堅・副将・大将は4分とし、3本勝負で時間内
に勝負が決しない場合は、引き分けとする。

(3) 勝敗は勝者数法とし、勝者数の多い方が勝ちとし、勝者数同数の場合は、取得
本数の多い方を勝ちとする。勝者数・取得本数とも同数の場合は、代表者戦を
行う。代表者戦は、その試合の最後に引き分けた者で行う。**試合時間は先鋒・
次鋒は3分、中堅・副将・大将は4分とし、1本勝負で行い、勝負が決しない場合は、
延長戦を先鋒・次鋒は3分ずつ、中堅・副将・大将は4分ずつ時間を区切って、
延長4回で1回3分の休憩を取り、勝負が決するまで行う。**

(4) 竹刀の規定

全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則並びに細則に準ずる。

- * 小学生は111cm(3尺6寸)以内とする。

(5) 選手の変更

申込期日以降の団体戦の選手の変更は、試合当日欠員となった選手枠に対し、
資格を満たした者を自チームの第1試合開始までに 試合会場の審判主任に
届け出て、許可を得たうえで出場する。

B 個人戦（全国道場少年剣道選手権大会）

第49回小学生男子の部・中学生男子の部

第42回小学生女子の部・中学生女子の部 以上4部門で行う。

- (1) 団体戦の規定に準じ、試合時間は小学生・中学生ともに3分とし、3本勝負で行い、時間内に勝負が決しない場合は、延長戦を3分行う。決着がつかない場合は、判定において勝負を決する。ただし準決勝・決勝の延長戦は3分ずつ時間を区切って、延長4回で1回3分の休憩を取り、勝負が決するまで行う。
- (2) 判定の要件は、道場連盟申し合わせ事項として、積極性及び姿勢態度も重視し総合的に判断する。
- (3) 個人戦の選手の変更は、支部の申請が無い限り認めない。
欠員の場合は、不戦扱いとする。

10 傷害処置

- (1) 主催者は、大会中の負傷及び疾病に対して応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。
- (2) 主催者は、大会中の出場選手に対し、傷害保険に加入する。
少年剣士会員章(ワッペン)着用の選手は、自動的に傷害保険が適用される。

11 表彰

団体戦・個人戦(4部門)

- (1) 優勝(チーム・者)に優勝旗を授与する。(持ち回り)
- (2) 優勝・準優勝・三位(2チーム／2名)を表彰し、賞品を授与する。
- (3) 参加選手に対して参加賞を授与する。

12 参加料

- | | | |
|---------|-------|---------------|
| (1) 団体戦 | 1 チーム | 5,000円 |
| (2) 個人戦 | 1 名 | 1,000円 |

13 申込方法

- (1) **申込期日 令和7年8月15日(金)必着とする。**
- (2) 現金書留封筒に参加料と申込書を同封して、下記宛に送付すること。
* 申込書は、折って同封しても、複数同封しても構いません。

〒 890-0047

鹿児島県鹿児島市常盤2-8-7

鹿児島県剣道道場連盟

事務局長 下野 哲郎

TEL : 099-206-6186

E-mail : t-simono@nangoku-group.com

*** 上記申込方法は支部によって違う場合があるので、必ず支部確認の上、申し込むこと。**

**災害時等やむなく大会を中止する場合は準備費等を除いた金額を返金する。
但し状況に応じ返金できない場合もあることを理解の上、申し込むこと。**

14 経費

参加者の経費(旅費・宿泊費等)は、各自手配の上、自己負担とし、
大会中止等による、宿泊所、交通機関のキャンセル代が発生する場合も自己負担となる。

15 宿泊・弁当

必要とする場合は下記業者に問い合わせること。

案内業者

南国交通トラベルサービス 本社営業所

〒890-0053 鹿児島市中央町18-1 南国センタービル3F

TEL : 099-254-8111 / FAX : 099-255-4831

担当者 : 田島 健一 ・ 伊地知 奈津美

E-mail : k.tajima@nangoku-kotsu.co.jp

宿泊・弁当お申込の際は、上記連絡先まで、電話又はメールにてお問合せをお願いいたします。

宿泊・弁当申込期間 2025年4月1日(火)10:00から2025年8月29日(金)17:00まで

16 道場旗・団旗(旗幟)の館内掲示について

安全管理面、施設面等の規制により、本大会は、
道場旗・団旗(旗幟)等の館内掲示は不可とする。

17 そ の 他

- (1) 試合者の目印は、出場チーム(者)が紅白のタスキを持参し、着脱も行うこと。
(プログラムによる番号の若い方を赤とする。)
- (2) 試合者の名札(垂ネーム)は、道場名と個人名の入ったものを使用すること。
- (3) 団体戦出場チームは、オーダー表を準備し、大会当日、受付に提出すること。
オーダー表の寸法は、出場チーム(道場)に通知する。

- * 申込書により得られたデータは、プログラムの選手名掲載のほか、記念品製作・雑誌掲載及び剣道普及等のために使用することがある。
- * 大会等の会場において、個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。
ただし、全道連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- * メディア等が事前に連絡の上、全道連から許諾を得て行う場合は認める。
大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- * 全道連が許可した報道機関等が撮影した写真や映像が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等に掲載や配信、販売されることがある。
- * 都道府県別に応援・観覧席を指定しますので、場所取りは厳禁です。
- * 大会前日 10月18日(土)の稽古会場は、鹿児島アリーナのサブアリーナをご利用ください。
午前10時から午後4時までご利用ください。(稽古時間は、1時間程度でお願いします)

※ 本大会は新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止を図る為、全日本剣道連盟の制定した「感染拡大予防ガイドライン」に沿って開催する。

※ 来館者におけるマスクの着用は個人の判断とし、試合審判中の審判員はマスクを着用しない。

※ 新型コロナウイルス関連の状況を踏まえ今後、開催や規則等、適宜変更する場合がある。